

議 事 録

報告事項	
(1) 浜五挺唐樋の復旧について	
事務局	昨年の4月末から5月の間に浜五挺唐樋の一番左側のロクロが落ちたが、8月9日に修復が終わった。
委員	一つ質問だが、ロクロを回す鉛か何かの棒が4本あるが、あれはいずれ落ちてなくなると思うから、1～2本抜いて資料館かどこかに置かせてもらったらどうか。いざという時に竹の棒ですというわけにいかない。
事務局	これは元々全部に刺さっていたのか？
委員	日守の伊藤さんという人が、いざという時にあれを使って（招き戸を開閉して）いた。縁に伊藤さんという家があって、その方が藩からだいぶ給料をもらい、役目がそれだ。資料館に2本くらいあるかもしれない。
事務局	分かりました。
(2) 二挺唐樋の案内板設置について	
事務局	前回の審議会の時に案内板の文書について検討させていただいたが、それを基に案内板を11月30日に設置した。場所は遊水池側の方に立てて、案内板の写真は海側を載せているので、遊水池側と海側から見た分とが、両方比べられるように案内板を設置している。
委員	だいぶ大きな字で見やすい。字もこういう楷書体できちんと書いておれば良い。
委員	良く書いてある、良くまとめてある。海側の方は砂を埋めたのか？
事務局	真砂土を埋めた。
委員	真砂土、いざという時に除けられるようにね。
(3) 歴史民俗資料館の事業について	
事務局	平成22年度、6月から7月にかけて「発掘された山口一巡回速報展」をした。こちらは県の埋蔵文化財センターが主催で、共催という形になる。たくさんのお土産品を展示することができ、記念講演会とギャラリートークを開催した。8月3日から9月30日にかけては「勘場屋敷物語展」と題して、勘場屋敷の作花家から譲り受け資料館にある資料と楊井三之允のご子孫の方からお借りした資料を展示し、また、勘場屋敷の管理をされている郷土史研究会の野村さんにギャラリートークをやっていただいた。この反響が大きく、物語展の後にも、勘場屋敷に行ってみようということで道を尋ねに資料館へ来てくださる方が多かった。野村さんには現地まで何人かをお連れしていただき、度々ご案内していただいた。それから、「くらしと道具のタイムカプセル」というのは、現在もバージョンを変えてやっているが、資料館にある資料を季節に応じて展示したり、小学生が社会見学で来る時に、昔の道具などを展示してい

	<p>る。「昭和の思い出・絵手紙展」というのは、宇部の思い出館さんと一緒に展示をしたもの。それから11月には「稲こぎ体験教室」というのを試験的にやってみた。これは、最初はどの程度のことができるのか、スタッフの人数も含めて手探りだったので、地元の小野田小学校の校長先生の方にご協力を依頼して、地元の子供たちが集まってくれた。ちょうどこの時に、ディサービスでとまりの郷のおじいさん、おばあさんなんかもちょうど来られて、大変懐かしがって一緒に参加して体験をしてもらい、とても良い時間が持てた。それから12月18日、「歴史講演会 来嶋又兵衛」の講演会では毛利博物館の小山館長さんに来ていただいてお話をしていただき、大変多くの来場者の方に来ていただいた。12月から現在まで、タイムカプセルのコーナーを、随時お正月とかお雛さまとかの展示に変えて楽しんでもらっているところ。図書館の常連さんとか時々来られる方が、「あ、この前と展示がまた変わって楽しかった」というふうに声をかけてもらっている。その他、今年は、本山小学校が石臼をちょっと貸し出して欲しいということで、大豆からきな粉を作る体験をしてもらった。その写真を提供してもらい現在展示している。こういう試みを、また来年度も続けたい。平成23年度の事業計画だが、大きいところでは「発掘された山口」の巡回展の開催が決まった。今年度に比べ資料の数があまりないということだったので、急遽、平成18年に発掘された厚狭の柳下遺跡と今市遺跡の資料もお借りしてきて展示をしようと思っている。後は、「くらしのタイムカプセル」の春と夏のコーナー、それから厚狭毛利展では、毛利勅子さんの琴などを高校の方からお借りして、古文書などと一緒に公開したいと思っている。</p>
委員	<p>去年、今年と、厚狭図書館の塩見さんを含め、女子の学芸員が非常に熱心にされている。もちろん館長さんが差配されると思うが。だいぶイメージが変わってきた。非常に良いことだと思う。</p>
委員	<p>お雛さまに行った時、何かちょっと質問をしようと思ったが隣におられなかった。資料館には2人ほどおられるが、一人は私どもに付いて説明をしてもらいたい。</p>
事務局	<p>はい。</p>
<p>(4) 勘場屋敷について</p>	
事務局	<p>12月だが、文化庁の調査官が周防灘干拓遺跡とか大内氏の関係の視察のために来られ、今から行く名田島の南蛮樋とか五挺唐樋、ついでということで勘場屋敷を視察した。次の日、別の調査官が、厚狭の鴨庄の細迫さんという熊谷家の家老だった家に視察に来られた。</p>
委員	<p>文化庁の方から別にコメントはなかったのか？</p>
事務局	<p>良いものなので保存して行って欲しいとのこと。</p>
<p>その他</p>	
事務局	<p>5月末で任期が終わる。ありがとうございました。</p>
委員	<p>市役所の前に身体障害者のための駐車場が出来た。あそこに市役所の位</p>

	置、経緯度及び標高の書いた石碑があったがどこに行ったのか？
事務局	確認する。
委員	移動したらダメだ。
委員	縄地ヶ鼻の駐車場に縄地ヶ鼻の地形説明及び地形成因の説明板がある。良く書いてあると思うが、あれは教育委員会が立てたのか？
事務局	公園の関係なので都市計画課が管理している。
副会長	割に良く書いてあると思う。
委員	私が言うのも変だが、これはおめでたいことだと思うが、徳重先生には、この度、県の方で表彰されたとか。
委員	教育委員会の関係ですけど。
委員	これは文化財関係？
委員	はい。
委員	新聞に載っていた。それから、河野先生には、笠井さんの分厚い本を出されたということで新聞に載っていた。おめでとうございます。ぜひ見たい。
委員	厚狭の図書館に寄贈しているから内容を見てください。本は佐々木書店に置かせてもらっているけど仁多先生が一つ買っただけで、後は一切売れてない。厚狭の町は笠井順八と言っても、郵便局の本にしろ、この本にしろ、(小野田地区での知名度と比べ) 相当なあれがある。もう一つお尋ねは、昔の目出郵便局の前の三叉路に、北緯東経？何かすごく大事な物があった。ご存じないか？あの道や橋は昭和15年にできるのだが。
委員	三角点みたいなもの？
委員	そうそう、三角点。それがどこかに動いているはずだ。
事務局	行ってみましょう。
委員	ものすごく大事な物があそこにあって、上の方に持って行ったかもしれない。
委員	それも移動したらいけない。
委員	移動したらいけないものは、前もって気を付けておられるとは思いますが、審議会に「こういうことがあるのだが」と相談させるくらいの権威がないと。ただ形式的に文化財審議会だけがあって建前だけでやっているようなことでは(駄目だ)。(合併して) もう3期目だから、今度からはそれくらいの力を持たせてもらって、予算も、こういうことをしないといけないよということで(意見を反映させられるよう)、自主的に動ける体制を作らないといけない時期だと思う。ただ答申するとか審議するとかだけでは駄目。動かしてしまったら元に戻すことはもう出来ない。私は前々から思っている。こんなことを話したら時間がかかるから、その辺は、また研究しよう。